



## ■ 構造概要

### Structural Outline

- 所在地 新潟県長岡市
- 構造物名 RCAG 受信局舎
- 構造・規模 RC 造 二層鉄骨
- 基礎構造 ベタ基礎
- 復元総重量 約 5.5ton/m<sup>2</sup>(約 400ton)
- 復元平面積 72 m<sup>2</sup> (基礎底面積)
- 最大復元量 103mm
- 支持地盤土質 粘性土層
- 注入孔数 12 本
- 施工方式 多点インターバル方式
- 工期 11 日間

## ■ 施工概要

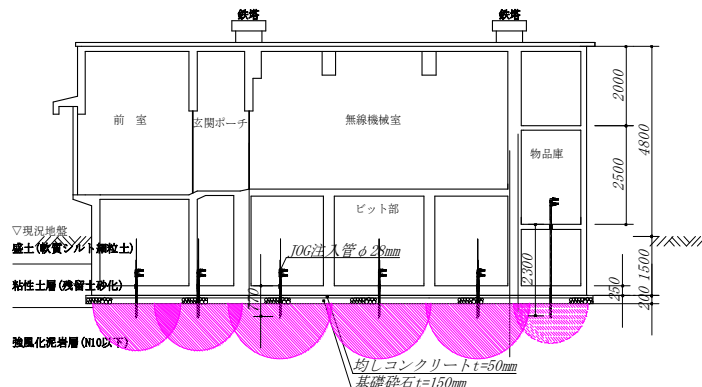
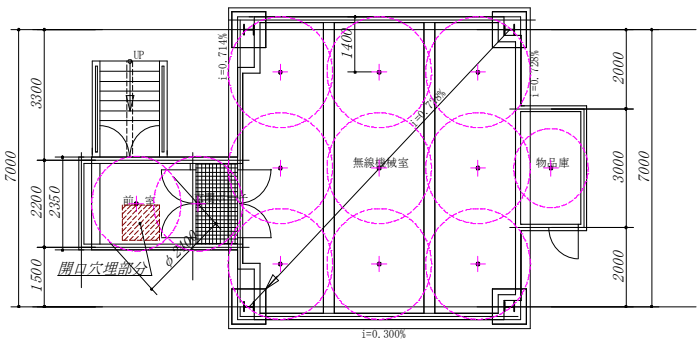
### Construction Outline

この建物は、新潟県中越沖地震によって建物全体が傾斜してしまい、作業性、支持層や精度から JOG 工法による沈下修正を行うことになった。

## ■ 実施施工

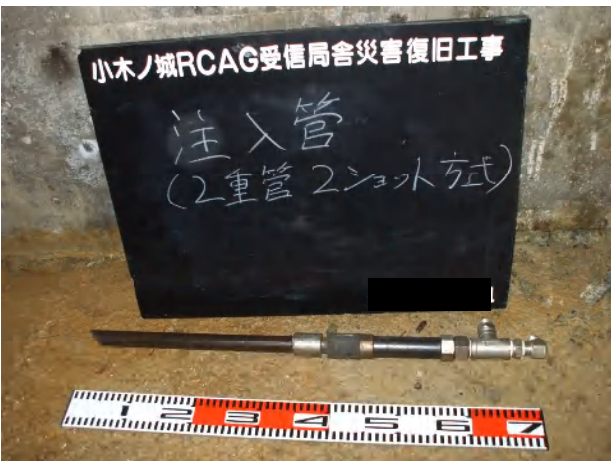
### Execution Construction

標高 300m 付近で水道などは通ってはなく、冬期には除雪車のような専用車両でなければ現地に行けない立地条件であった。 工事時期は 12 月～3 月を避け、水はローリー車を使い確保するようにした。 プラント設置場所から復元建造物までの距離は約 100m で標高差は 15m あったが、JOG 専用ポンプの移送能力に問題はなく無事施工できることが出来た。



## ピット内 削孔

ピット内の換気を十分に行い、電動式コアドリル使用し $\Phi 40\text{mm}$ のJOG注入孔を空けた。



## 注入管 $\phi 28\text{mm}$ (二重構造)仕組図

